

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2018年12月3日(月)

事業所名:エスポワールこじか

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	参加人数が多い日は運動の部屋は狭く、危険な場面もある。	・1、はい:37 2、どちらともいえない:9 3、いいえ:1 4、わからない:0 ・登録児童が休まず来園すると狭いと感じる。	検討が必要。こどもの活動スペースを確保するために環境を整える必要あり。(保護者の居場所をつくるなど) 時間調整をする。(一度に同じ部屋を使わないようにする)
	2 職員の適切な配置	現在、直接支援職員の人員が1名減の状況	・1、はい:43 2、どちらともいえない:1 3、いいえ:0 4、わからない:3	常勤職員を1名を採用し、子ども達の支援に必要な人員配置を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	ワークの部屋の衝立が倒れやすかったり、足に引っかかる。リハビリ室のマットが外れやすく危険。	・1、はい:40 2、どちらともいえない:4 3、いいえ:0 4、わからない:3 ・運動の部屋のマットがすぐズれる。	平成31年度に空調、外壁等改修計画。衝立については検討していく予定。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	定期的に全館清掃実施。 汚れはその都度、点検、清掃。	・1、はい:43 2、どちらともいえない:4 3、いいえ:0 4、わからない:0 ・トイレが汚れたままになっていることがある。	現状の清掃回数を継続しながら、最良の環境を整える
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々のカンファレンス、ビデオ研修等を行い業務改善を進めている。		毎日の反省会、毎月のビデオ研修を継続する
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	前回の第三者評価で療育マニュアルの作成が検討課題であった。 ステップアップマニュアル作成中。		前回評価の改善に向けて取組中。 また次年度第三者評価を受講する
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	案内が来てからなので計画的ではない。 強度行動障害支援者養成研修(基礎、実践) 発達障害実務者養成研修		専門研修受講を計画する 児童発達支援管理責任者研修を受講する
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	母子通園のため、保護者のニーズを聞きこんだ計画を立案している。	・1、はい:46 2、どちらともいえない:1 3、いいえ:0 4、わからない:0	現状の保護者としっかり話し合うことを継続する
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	グループ活動中に担当が子供の様子に応じて個別で対応している。		現状のグループ療育と子どもの様子や来園時間などに適宜対応した個別療育を継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	計画立案は施設内で話し合いを持って項目の設定を行っている。保護者にとってわかりやすい、具体的な内容になるよう努めている。	・1、はい:46 2、どちらともいえない:1 3、いいえ:0 4、わからない:0	支援計画やモニタリング時に保護者に分かりやすいものになっている。現状を継続する。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	内部研修(ケース検討)を行い、適切な支援の実施に向けている。 毎回支援内容を保護者に文章で示している。	・1、はい:46 2、どちらともいえない:1 3、いいえ:0 4、わからない:0	常に保護者と確認しながら現状を継続する
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	毎回の療育終了後に反省会を実施し、活動プログラムの立案を行っている。		毎回の反省会を継続する
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日や長期休暇の時間変更に対応している。 家庭の事情で欠席した時は振替日を設定している。		母子通園のため、出来る限り保護者の事情に合わせて療育を実施する
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	プログラムが固定化する傾向にある。	・1、はい:41 2、どちらともいえない:1 3、いいえ:0 4、わからない:5	プログラムが固定化しないように、子どもに合わせたプログラムを工夫していく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	反省会の記録用紙を参照し、事前に内容や役割等を確認している。		現状の確認作業を継続する
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎回の療育終了後に反省会を実施し、活動の振り返りを行ったり、保護者からの情報を共有している。		終了後の毎回の反省会を継続する
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	各担当ごとに「日々の記録用紙」を用いて、子供の様子や支援について記録し、検証を行っている。		現在の記録用紙を用いての日々の記録と検証を継続する
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回のモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。		半年ごとの半期計画結果説明と次期計画内容の保護者説明及び同意を継続する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達管理責任者が参画している。	現状を継続する	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	受け入れていない。	受入れ予定はない	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	受け入れていない。	受入れ予定はない	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	教育委員会を含め各関係機関とケース連絡会を行い情報共有している。小学校就学時には保護者の了承を得て、学校にこじかでの支援状況の引継ぎを行っている。園訪問、療育参観は随時行い、情報共有を図っている。	市町とのケース会議、園校訪問、療育参観を通して今後も関係機関との情報の共有を図る	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	放課後等デイサービスは小学生までしか利用していないので、卒業後の福祉サービスへの提供はしていない。 但し、サポートファイル作成は保護者へ説明している	小学生までの利用ですが、今後もサポートファイル作成や相談などには積極的に対応する	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修に参加している。	同法人運営の児童発達支援センターとの連携やひょうご発達障害者支援センターの研修受講を継続する	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	プログラムにはない。 こども園に在籍しながら、こじかも併用されているため、日々、交流はされている。	・1、はい:27 2、どちらともいえない:2 3、いいえ:3 4、わからない:15	所属園での生活が中心であるため、施設としての交流は考えていない。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していない。		地域へ出かけるプログラムは必要と考えるが、地域住民の招待などは予定していない。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容は随時、利用負担については契約時に説明している。	・1、はい:45 2、どちらともいえない:1 3、いいえ:0 4、わからない:1	現状の形を継続して行う
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書は必ず保護者と確認しながら説明している。	・1、はい:47 2、どちらともいえない:0 3、いいえ:0 4、わからない:0	現状を継続しつつ、更に分かりやすさを検討する
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	外部講師を招いた保護者学習会と参加のしやすいグループ別学習会を実施。毎回の療育中に、子供の支援について保護者と懇談を行っている。	・1、はい:45 2、どちらともいえない:1 3、いいえ:0 4、わからない:1	現状学習会等を継続する。テーマは保護者にアンケートするなど偏らないようにする
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者同伴での利用なので、常に共通理解に向けた話し合いを持っている。	・1、はい:45 2、どちらともいえない:2 3、いいえ:0 4、わからない:0	現状を継続し、話しやすい雰囲気作りを行う
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	療育中に保護者の相談に対応したり、助言を行っている。営業時間内は電話による相談に対応している。相談日を設定している	・1、はい:43 2、どちらともいえない:2 3、いいえ:0 4、わからない:2	法人理念でもある寄り添うことを実践し、いつでも、どんな相談でも受け入れるように努力している。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者の茶話会開催について場所提供している。開催日を掲示したり、おたよりに掲載するなど伝達を行っている。	・1、はい:32 2、どちらともいえない:5 3、いいえ:1 4、わからない:9	週1回利用のため保護者会は成立し難い。有志の茶話会などを通して保護者同士の連携に協力する
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口やフロー図について契約時に説明し、掲示している。	・1、はい:29 2、どちらともいえない:2 3、いいえ:0 4、わからない:16	契約時の窓口等の説明と2市1町福祉課長との運営会議での報告を継続する
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	情報を見える化(イラスト、文字、表など)にして伝えるように努めている。	・1、はい:44 2、どちらともいえない:2 3、いいえ:0 4、わからない:1	お子さんや保護者の方が分かりやすい方法(イラスト、写真、図、録音など)を今後も工夫する
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月「こじかだより」を個々に配布。施設内に掲示。	・1、はい:41 2、どちらともいえない:3 3、いいえ:0 4、わからない:3	毎月のお便りの配信を継続する情報の提供を行う

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いには慎重に扱うよう努めている。ただ、施設玄関のカウンターに全利用者の実績記録表を置き、誰でも見れるようになっている点については配慮が必要。	・1、はい:44 2、どちらともいえない:1 3、いいえ:0 4、わからない:2	対外的な個人情報は慎重に行っているが、内部的には見直しも必要。今後見直しを行う。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	保護者に対しては契約時に説明している。職員にはマニュアルをいつでも確認できる状態にし、周知を図っている。	・1、はい:31 2、どちらともいえない:6 3、いいえ:3 4、わからない:7	よりわかりやすく、見やすいものを検討し、マニュアル整備を行う。保護者へのマニュアル周知も検討する。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	職員による訓練はしているが、利用者参加の訓練を実施していない。	・1、はい:15 2、どちらともいえない:8 3、いいえ:5 4、わからない:19	母子通園と毎日違うメンバーなので難しいが、実施に向けて検討を行う。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	法人規程により虐待防止推進担当者をおき、施設内研修を実施している。		虐待防止推進担当者による研修を継続する
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	環境の整備、支援に必要なかかわり等におけるの拘束は、随時保護者に説明している。支援計画に記載している場合もある。		子ども1人に対し常に担当と保護者が一緒にいるため、事前説明だけで十分と理解しているが、今後も誤解が生じないように説明していく
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供はしていない。おやつ程度。医師の指示書は無い。ただし、保護者からの聞き取りをとおして、医師の指示に従っている。		食事の提供はしないが、保護者からの情報は必ず聞き取り、意識するように努める
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を記載後、対策検討を行い、報告書綴りにまとめている。		今後もヒヤリハット報告を継続し、対策会議を行いリスクへの意識付けを継続する